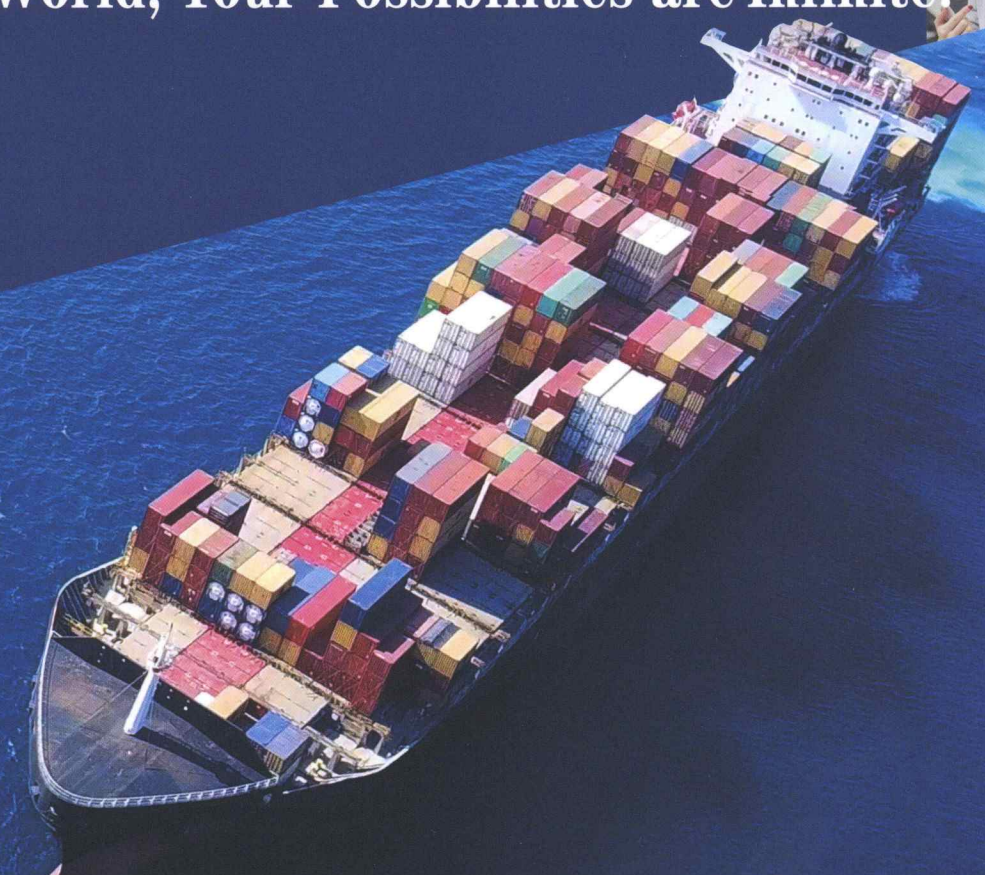




世界に挑戦、可能性は無限大。

Take on the World, Your Possibilities are Infinite.



Recruiting Book 2021

さすがだね、を世界中で。





# Contents

Recruiting Book  
2021

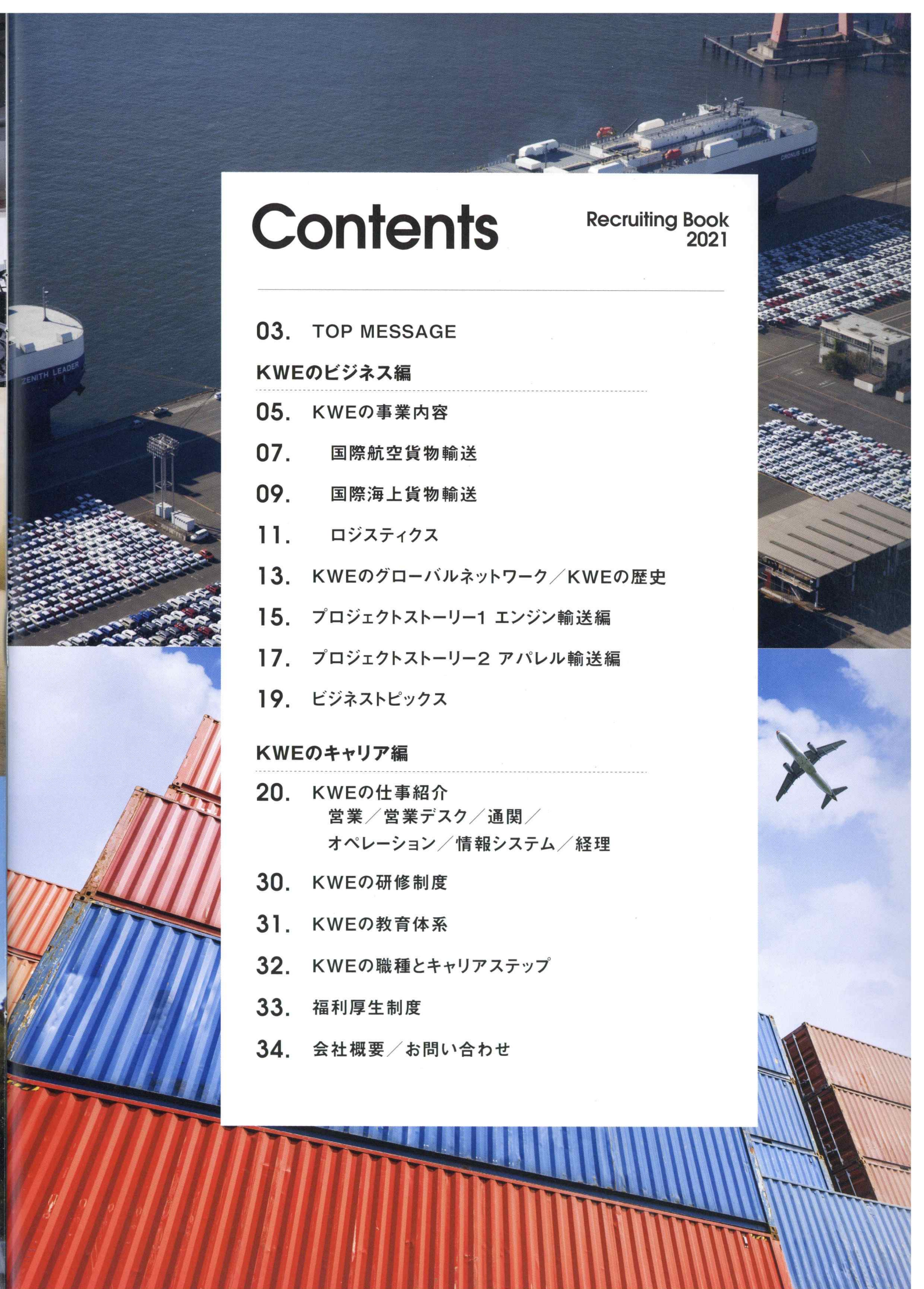
## 03. TOP MESSAGE

### KWEのビジネス編

- 05. KWEの事業内容
- 07. 国際航空貨物輸送
- 09. 国際海上貨物輸送
- 11. ロジスティクス
- 13. KWEのグローバルネットワーク／KWEの歴史
- 15. プロジェクトストーリー1 エンジン輸送編
- 17. プロジェクトストーリー2 アパレル輸送編
- 19. ビジネスピックアップ

### KWEのキャリア編

- 20. KWEの仕事紹介  
営業／営業デスク／通関／  
オペレーション／情報システム／経理
- 30. KWEの研修制度
- 31. KWEの教育体系
- 32. KWEの職種とキャリアステップ
- 33. 福利厚生制度
- 34. 会社概要／お問い合わせ





株式会社近鉄エクスプレス  
代表取締役 社長執行役員

## 鳥居 伸年

明治大学法学部を卒業後、1982年近鉄航空貨物株式会社(現・株式会社近鉄エクスプレス)に入社。米国法人駐在、京浜輸出営業所長、フォワーディング(現・輸出)営業部長を経て、2012年に取締役米州本部長、2016年6月に代表取締役 社長執行役員に就任。



# 求めるのは、意志を持って動ける人

## グローバルトップ10を目指して

KWEは1970年の会社設立以来、グローバルに事業を展開し、現在は国際総合物流企業として46カ国に自社のサービス・ネットワークを展開しています。私たちはお客様に最適な提案を行うことにより、欠かすことのできないビジネスパートナーとしてお客様とWin-Winの関係を構築する、真の“グローバル・ロジスティクス・パートナー”を目指してきました。

現在、当社は日本発着の国際物流においては主要プレーヤーの一社ですが、世界でもっとも輸送需要の大きいアジア・欧米間の取り扱いシェアはわずかで、事業拡大の余地は大いにあります。その実現の為には、さらに視野を広げ、新たなステージを目指していかなければなりません。当社は世界最大の市場であるアジア・欧米間のメインプレーヤーである欧米競合他社と互角に戦うことができる体制づくりに注力しています。

2020年1月、当社は設立50年という大きな節目を迎えました。これまでの50年と比べて、これからの50年はグローバル化の波が一層強まっていくでしょう。また、AIやIT技術を駆使し次世代の物流サービスを追求するデジタルフォワードの市場参入が進み、お客様の価値観も変わっていくことが予想されます。変わり続ける事業環境において強く生き残っていく為には、現状に甘んじることなく、常に高みを見据えていかねばなりません。そこでこのたび当社では、“Global Top 10 Solution Partner”～日本発祥のグローバルブランドへ～という長期ビジョンを新たに掲げました。グローバル市場での事業拡大と企業価値の向上を図ることで、さらなる進化を目指していきます。

## 物事を俯瞰する力と 果敢に挑戦する“攻め”の姿勢を

さて、日本企業が世界のトップ10を狙う上で必要なものは何でしょうか。まずは、大きな視点に立って物事を俯瞰的に捉える力です。グローバルな舞台で

戦うには、“井の中の蛙”のままではられません。世界に目を向け、どこにチャンスが眠っているのか、勝つ為にはどうすればいいのかを多角的に考えることが大切です。

また、自ら考え動き出し、積極的に物事を前に進めていく“攻め”の姿勢も必要です。当社には主体性を尊重し、若手社員にも公平にチャンスを与える企業文化が根付いていますから、意欲のある方にとって非常にやりがいのある環境が整っています。自分の意見をしっかりと発言する、当事者意識を持って最後までやり抜く、興味のあるテーマを徹底的に追究するなど、プロアクティブな人材を大いに歓迎します。

## 「人」の力で社会に貢献する

現在、当社では社員の働きやすさを高めることを目的として働き方改革に取り組んでいます。テレワーク制度、時間単位年休制度、連続休暇制度の導入や自己啓発プログラムの実施などさまざまな施策を進めていますが、すべては社員一人ひとりが能力を存分に発揮し成果を生み出していく為であり、個々が高いモチベーションを持って働くことで、会社はさらなる活力に溢れ、成長することができると考えています。今後もサポートを一層充実させ、社員にとって働きやすい会社を実現していきます。

グローバルな事業に携わる上で、知識の豊富さや海外経験、語学力は大きな武器となります。しかし何よりも大切なのは、情熱と熱意を持ってコミュニケーションが行えることです。たとえ言葉が完璧でなくても、自らの考えや気持ちを伝えようとする強い意志があれば、相手と心を通わせることができるからです。KWEは「人」を通じて価値を提供し、お客様や社会から信頼される存在を目指しています。私たちの志に賛同していただける方、世界を動かしたいという熱い思いのある方、是非当社の仲間と共に夢を叶えていきましょう。



# Business

## KWEのビジネス編

### KWEの事業内容

## 物流を通じて新しい価値を創造する

世界中の企業活動は、様々な分野のスペシャリストに支えられています。KWEは世界で活躍する国際総合物流のスペシャリストとして、あらゆる物流サービスを提供します。航空輸送、海上輸送にとどまらず、物流の最適化を図るロジスティクスサービスにおいても、その実力を発揮しています。

### 国際航空貨物輸送

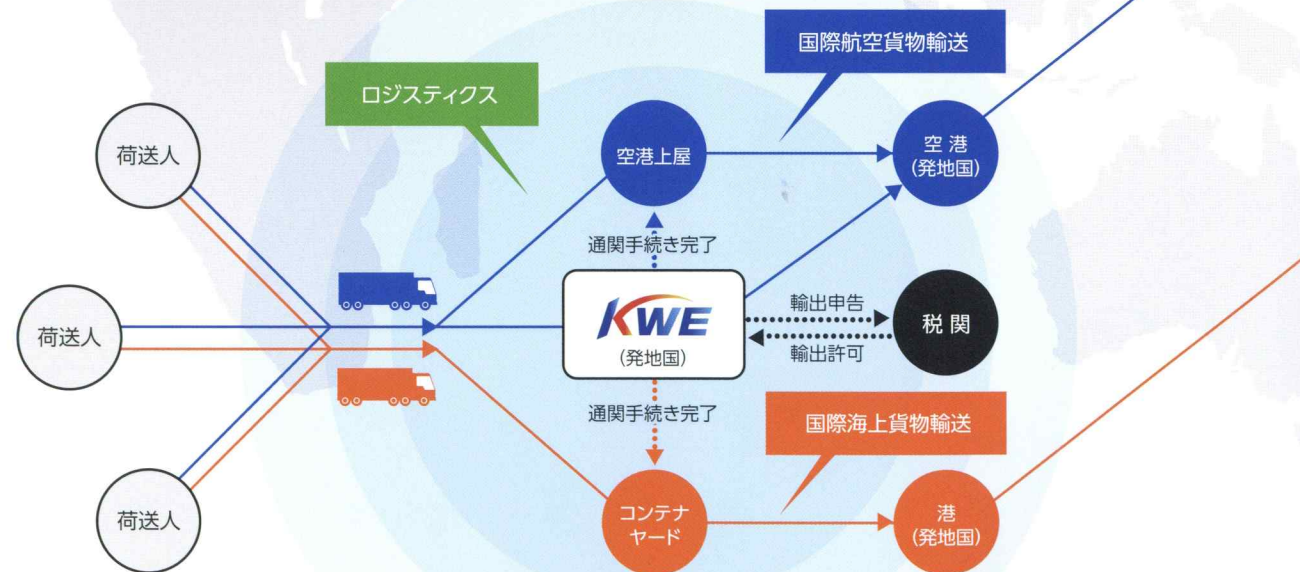
KWEの主力事業である航空貨物輸送では、半導体や電子部品などのエレクトロニクス関連品に加え、自動車関連品やヘルスケア・アパレル関連品など、取扱品目の拡大を積極的に行っています。長年の輸送ビジネスで培った特殊輸送などの高付加価値輸送サービスもKWEの強みの一つです。

### 国際海上貨物輸送

航空と同様のきめ細かなサービスと輸送品質で、KWEは海上貨物輸送でも存在感を増しています。メーカーの海外生産工場への設備輸送およびその搬入・据付けなどを行うとともに、高速海上混載サービスの提供などにより、お客様の幅広い要望にお応えしています。

### ロジスティクス

国内外約400カ所の物流施設とITシステムを駆使し、お客様にとって最適で高品質なロジスティクス・サービスを世界中で提供しています。在庫管理、流通加工作業、物流コンサルティングなどのサービスに加え、近年は医療機器などのヘルスケア関連品の取り扱い拡大のためにライセンスを取得しています。KWEは万全な体制を整え、お客様と共に物流課題の解決に取り組んでいます。



### ロジスティクスとは

市場ニーズを的確に判断し、最終消費者への販売と調達・生産との同期化を図るためのマネジメントのことをいいます。企業は調達・生産・販売・物流・廃棄・回収などの活動の合理化および全体最適化に向けて取り組んでいますが、物流に関連する業務を戦略的にアウトソースすることにより、本来のコア・ビジネスに集中することができるようになります。







## 国際航空貨物輸送

グローバル・ネットワークで  
高品質な輸送サービスを行う

## Door to Doorでお客様の物流をサポートする

国際航空貨物輸送はKWE設立当初からの主力事業です。複数のお客様から預かった貨物を海外の仕向地ごとに「KWEとして一つの貨物」としてまとめ、当社自らが荷送人となって航空会社に輸送を委託します。これを混載事業といいます。Carrier（キャリア、航空会社）に対して、当社のように自社では輸送手段（航空機）を持たない事業者を、Forwarder（フォワーダー、混載業者）と呼びます。

キャリアが空港から空港までの輸送を担うのに対して、フォワーダーは輸送ルートの選定、貨物の集荷や検量、必要書類の手配、輸出入通関や配送など、発地国の荷送人のドアから着地国の荷受人のドアまでの一連の手続きを一手に引き受けます。

KWEはこれらの手配をスムーズかつ正確に遂行するため、営業所や各オペレーション部門、到着地の海外法人が相互に連携して業務を行っています。日本発着だけでなく、日本を経由しない海外から海外への「オフショア・ビジネス（三国間輸送）」も手がけています。このように、Door to Doorのきめ細かな一貫輸送サービスを提供することにより、輸送時間の短縮のみならず、お客様のサービス品質向上や在庫適正化による財務体質改善にもつながっています。

## 安全に速く確実に届ける

航空輸送では主に価格の高いものや緊急を要するものを運ぶのが特徴です。主な輸送品目は、エレクトロニクス関連品、自動車関連品、医薬品・医療機器、化学品、高級ブランド品などです。いずれも付加価値が高く、プロダクト・ライフサイクルが短いため、部品はいち早く工場の生産ラインに投入され、完成品はすぐに市場に流通させる必要があります。KWEでは、自社施設で貨物をULD（Unit Load Device、航空機搭載用パレット）に積みつけることにより、「貨物の損傷防止」「高い安全性」「搬出入の時間短縮」を実現しています。半導体製造装置などの大型貨物

や、化学品や医療関連品など温度管理が求められる特殊輸送のノウハウも豊富に持ち合わせています。

また国際輸送では、輸出入の際に税関に貨物の内容を申告し、許可を得る必要があります。KWEはIT技術を活用した独自の通関システムを業界に先駆けて開発しました。事前に貨物情報を登録しておくことにより、短時間での通関書類の作成を可能にしています。

関税・消費税の算出、違法な輸出入品を水際で止めるなど、通関業者の責任は重大です。KWEはコンプライアンス体制が整備された「AEO事業者（認定通関業者）」として、2012年に東京税関から認定を受けています。認定通関業者に与えられた様々なメリットを利用しながら、お客様に速く適正な通関サービスを提供しています。

## 輸送サービスにさらなる付加価値を

KWEは海外46カ国・319都市・860拠点（2019年3月末現在）にも及ぶ充実したグローバルネットワークを持ち、高度なITシステムを活用した高品質なオペレーションを提供しています。

また、KWEは中国にいち早く進出し、現在では中国国内で18法人、100を超える拠点を構え、業界最大級のネットワークを構築しています。多くの荷主が国内輸送に課題を抱えるインドでは、2012年に国内輸送会社大手のGati社と合併で、Gati-Kintetsu Express（Gati-KWE）を設立しました。また2015年には、近年成長が著しく、日系企業の進出も進んでいるカンボジアに法人を立ち上げました。

お客様の大切な貨物の輸送を託す航空会社との関係強化にも努めています。KWEは複数の航空会社とパートナーシップを締結しています。グローバルベースでの安定的なスペース確保をはじめ、より高品質なサービスをお客様にご提供することが可能になりました。

今後もKWEグループの総合力を最大限に発揮し、付加価値の高い航空輸送サービスを提供していきます。







## 国際海上貨物輸送

きめ細かなサービスで  
大型貨物から日用品まで徹底サポート

## 成長を続けるKWEの海上輸送ビジネス

KWEは、NVOCC(Non Vessel Operating Common Carrier、海上フォワーダー)として国際海上貨物輸送、複合一貫輸送を行っています。NVOCCは、航空の場合のフォワーダーと同様自ら輸送手段を持たず、Carrier(船会社)の持つ輸送サービスを利用して貨物を輸送します。また、異なる輸送手段を組み合わせた輸送を複合一貫輸送といいます。例えば米国西海岸まで海上輸送したコンテナ貨物を、陸揚げ後に内陸まで鉄道輸送する、といった例があります。

KWEはLCL(小口)、FCL(コンテナ単位)の貨物に加え、在来船での大型貨物のアレンジなど、幅広い海上輸送サービスを提供しています。荷送人から貨物を預かり、荷受人の手に届けるまでのほぼ全ての過程を担います。

KWEは航空輸送で培った機動力をベースに、海上輸送事業においても成長を続けています。海上輸送の場合、大口の荷主は直接船会社と契約することが多いですが、複数の契約を管理することは非常に煩雑です。NVOCCに輸送を委託することによってお客様の業務上の利便性は高まり、輸送の選択肢も広がることから、近年その存在価値が高まっています。

NVOCCとしてのKWEの強みは、シングルウィンドウでお客様の輸送ニーズに柔軟に対応できることです。つまり、主に海上輸送を取り扱うお客様であっても、突発的な航空輸送の需要が発生した場合には、直ちに対応することが可能であるということです。また、KWEの充実したグローバルネットワークを駆使して、三国間輸送など複雑な輸送ニーズにもきめ細かくお応えしています。

## 海上でも変わらない、KWEの輸送品質

海上輸送では、価格の低いものや輸送に時間をかけられるもの、航空機に搭載できない大きなものや大量の貨物が運ばれており、スケールの大きな輸送が醍醐味です。主要な取扱品目は、原材料や設備機械、衣類、雑貨、量販店向け製品、比較的緊

急度の低い生産用部品などで、日本発着の国際輸送の99%以上が海上輸送されています。

KWEは安心、確実にスピーディーな輸送を提供するための商品開発にも取り組んでいます。近年は、「世界の工場」かつ「世界最大の消費マーケット」である中国をはじめ、アジア諸国との輸出入貨物量が増加しています。KWEはこうしたニーズを捉え、例えば中国では、荷受人(バイヤー)主導でコンテナを仕立て、複数の荷送人(サプライヤー)の貨物をまとめて輸送する「バイヤーズコンソリデーション」と、KWE中国が保有する豊富な自社倉庫を駆使して、お客様のニーズに応じた細やかな高付加価値サービスを提供する「プレミアムロジスティクス」を組み合わせるなど、多様なサービスを展開しています。

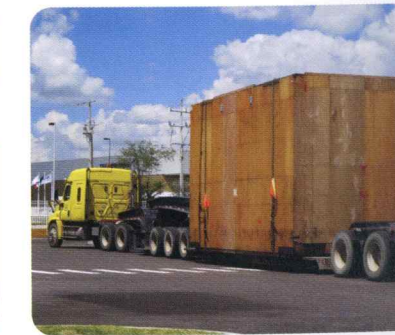
2012年からは、業界初のサービスとして日本発カナダ東部向け定期便サービスを開始しました。カナダ東部向け貨物だけでコンテナを仕立てるため、輸送途上での詰め替えが発生せず、トロント到着後は自社倉庫にてハンドリングすることにより、作業の見える化を実現しました。信頼できるリードタイムで、確実な輸送および緊急時の柔軟な対応を行います。

日本発、中国・東アジア向けにも自社コンテナの仕立てを増やし、LCL貨物で発生しやすいダメージの防止に注意を払い、丁寧なハンドリング作業を行っています。

## 最適な海上輸送サービスの追求

KWEは貨物の輸送にとどまらず、周辺サービスの強化を進めており、それが新たな強みとなっています。例えば、液晶パネル製造工場や半導体製造工場向けの超精密機械を、国内のクリーンルームから搬出し、海上輸送後に海外工場に搬入・設置するまでをワンストップで行っています。

航空貨物輸送やロジスティクス・サービスとの連携をますます強化し、多様化するお客様のニーズに合わせた最適な海上輸送サービスを追求していきます。







## ロジスティクス

多様なニーズを的確に捉えた  
最適な物流ソリューションを構築する

### 輸送にとどまらない戦略的マネジメント

多くの企業でグローバルベースでのSCM(サプライチェーン・マネジメント)が進み、物流に関するお客様の要望も高度化・多様化してきました。

ロジスティクス事業では、国際航空貨物輸送・国際海上貨物輸送の前後に、お客様の貨物を当社の倉庫で保管するだけでなく、ラベル貼付、仕分け、検品、化粧箱への梱包といった、貨物を市場に流通させるための流通加工作業も行います。多くのお客様が物流の合理化やコスト削減を目的として、これらの作業を私たちに業務委託(アウトソーシング)する傾向にあります。

KWEのような国際物流業者や倉庫業者が、荷主企業に代わって包括的な物流サービスを提供する形態を、3PL(サード・パーティー・ロジスティクス)といいます。KWEは3PL事業にいち早く参入しました。「発注から納入まで、どのように最適化を図るか」というお客様の視点に立ち、輸送や保管はもちろん、「調達」「生産」「販売」など、従来の輸送業の発想を超えた戦略的なマネジメントサービスを提供しています。

### 多様なニーズに ロジスティクス・ソリューションで応える

KWEでは、お客様の多様なニーズにきめ細かく対応するロジスティクス・ソリューションを提供しています。

あらゆるニーズに応じて、高品質・最先端のロジスティクス・サービスをワンストップで提供するために、受注代行、在庫管理から情報管理、結果の分析といったマーケティングなど経営にかかわる分野まで手がけており、この点が従来のアウトソーシングとは大きく異なります。

例えば、通信機器などの「PDI(納入前検査)サービス」は、KWEの倉庫で製品を検査し、OSのバージョンアップ、通信状態の確認・設定などを行います。保管と同時にこれらの作業を行うことで、商品をより早くユーザーに届けることが可能となります。

また近年では「クロスドックサービス」へのニーズが高まってい

ます。このサービスは輸入貨物に対して、KWEの倉庫での納品先毎の仕分け・流通加工・出荷に至る一連の作業を空港到着同日中に行うサービスで、KWEはその充実した物流ネットワークにより実現しています。

KWEは国内外約400カ所の物流施設を持ち、ISO9001、ISO14001の認証を取得しています。また多彩かつハイレベルな要求に応える在庫管理システムが、お客様のロジスティクスを強力に支えています。

### グローバル・ロジスティクスを支える 物流施設

千葉県市川市、都心と成田・羽田・港湾地区を結ぶ中間に位置する立地で、外環道の開通により首都圏の物流の要所となる場所にKWEの第4原木ターミナルはあり、輸入貨物の保管、配送という一連の流れを一気通貫で行います。

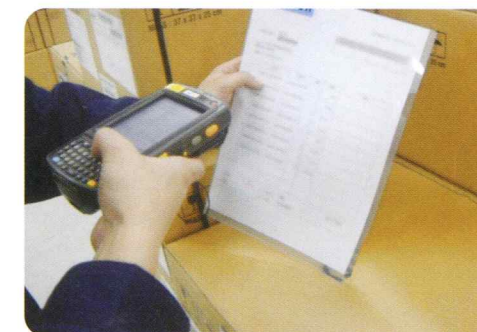
ここでは、ISO9001に加え、医療機器における品質マネジメントシステム規格ISO13485の認証を受けています。また、医療機器、化粧品、医薬品などの製造業の許可を持ち、2013年8月には動物用医薬品製造業の許可を取得しました(許可区分はいずれも包装、表示、保管)。

例えば海外から医療機器が輸入されると、日本の法令要件を満たし、市場に出荷可能な状態であるかを確認するため、外観検査やロットチェック、法定ラベルの確認等いくつもの試験検査が行われます。ユーザーからの注文は月間数万件に及び、全国へ配送され、円滑な物流サービスが患者さんの生命に直結します。

KWEでは工程管理が可能な業事専用のWMS(倉庫管理システム)を独自開発し、安全かつ高品質なサービスを提供しています。

こうした高度なノウハウと信頼性の高いシステムに裏付けされた付加価値の提供が、KWEのロジスティクスサービスにおける大きな特徴です。

今後もお客様と共に最適な物流をデザインし、ロジスティクスニーズに対するソリューションを提案し続けます。

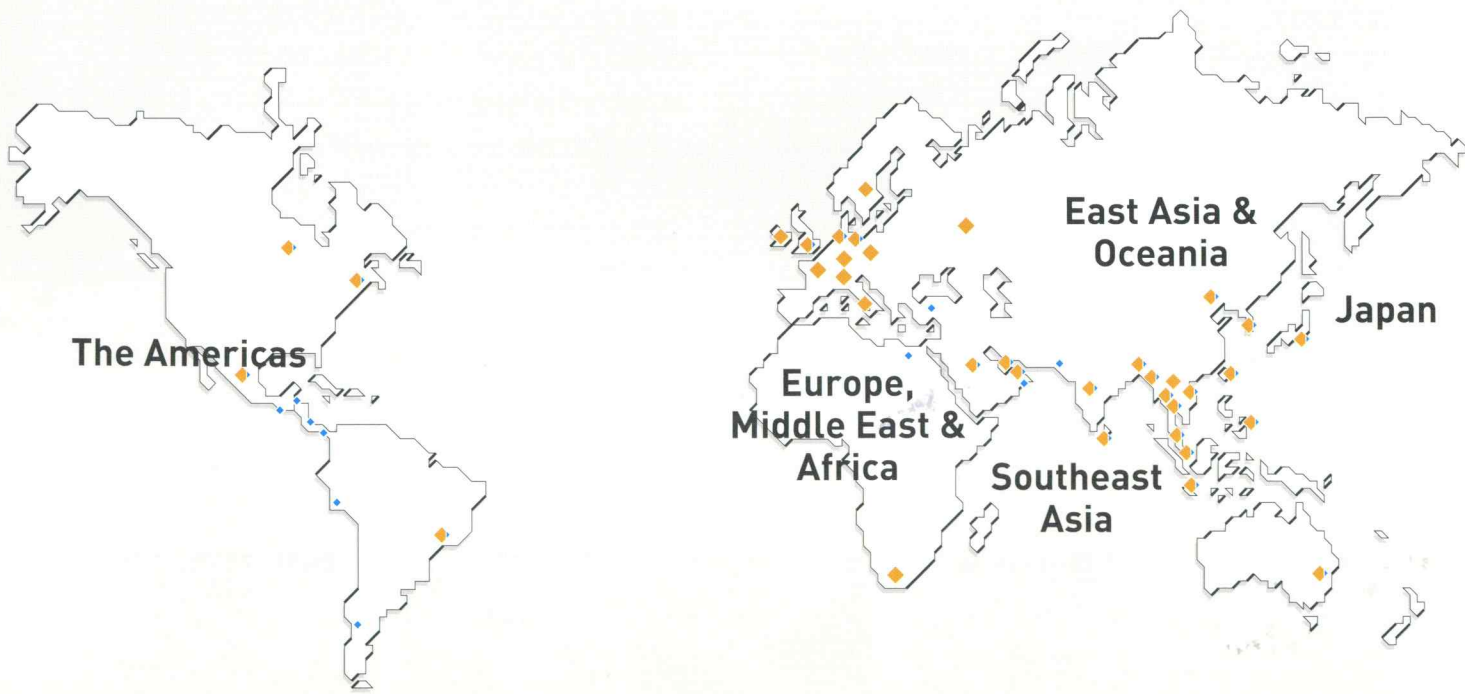




# KWEのグローバル・ネットワーク

世界トップクラスの総合物流企業KWEを支えているのが、当社が誇るグローバルネットワークです。現在、世界を「米州」「欧州・中近東・アフリカ」「東アジア・オセアニア」「東南アジア」、そして「日本」の5地域に分け、それぞれに本部を設けています。また、2015年5月にはAPL Logistics Ltd (APLL)をグループに迎え、APLLグループを統括する「APLL本部」を設置しました。グループ企業の社員の約9割を外国人社員が占めることに象徴されるように、現地のスタッフを積極的に採用し、KWEならではの付加価値の高いサービスを提供するための教育も行っています。このように各地域に密着しながら、地域ごとに独自の戦略を立案することによって、経営の効率化とスピード化を図り、欧米競合他社とも対等に戦える強固な経営構造を目指しています。このグローバルネットワークは海外46カ国・319都市・860拠点に及んでいます。

- |        |          |            |           |          |          |
|--------|----------|------------|-----------|----------|----------|
| ◆ 日本   | ◆ チェコ    | ◆ アラブ首長国連邦 | ◆ バングラデシュ | ◆ シンガポール | ◆ ホンジュラス |
| ◆ カナダ  | ◆ フランス   | ◆ サウジアラビア  | ◆ カンボジア   | ◆ タイ     | ◆ ベルギー   |
| ◆ アメリカ | ◆ ドイツ    | ◆ バーレーン    | ◆ インド     | ◆ ベトナム   | ◆ パナマ    |
| ◆ ブラジル | ◆ アイルランド | ◆ 南アフリカ共和国 | ◆ インドネシア  | ◆ エジプト   | ◆ パキスタン  |
| ◆ メキシコ | ◆ イタリア   | ◆ オーストラリア  | ◆ ラオス     | ◆ トルコ    | ◆ スリランカ  |
| ◆ イギリス | ◆ ロシア    | ◆ 中国       | ◆ マレーシア   | ◆ チリ     | ◆ オマーン   |
| ◆ ベルギー | ◆ スウェーデン | ◆ 韓国       | ◆ ミャンマー   | ◆ コスタリカ  |          |
| ◆ オランダ | ◆ スイス    | ◆ 台湾       | ◆ フィリピン   | ◆ グアテマラ  |          |



# KWEの歴史



# 近鉄グループについて

当社は、近鉄グループホールディングス(株)のグループ企業です。

近鉄グループホールディングス(株)は、1910年設立の大手鉄道会社で、日本の私鉄では最大級の営業路線網を有しています。グループ各社がさまざまな事業を展開しています。

## 近鉄グループの事業領域

<b>運輸事業</b>	<b>不動産事業</b>	<b>流通事業</b>	<b>ホテル・レジャー事業</b>	<b>その他の事業</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鉄道事業</li> <li>・ バス・タクシー事業</li> <li>・ 物流事業(KWE)</li> <li>・ 海運事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分譲事業</li> <li>・ 賃貸事業</li> <li>・ リフォーム事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 百貨店事業</li> <li>・ スタア事業</li> <li>・ 駅ナカ事業</li> <li>・ サービスエリア事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホテル・旅館事業</li> <li>・ 旅行事業</li> <li>・ レジャー事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文化事業</li> <li>・ ケーブルテレビ事業</li> </ul>

グループ企業数：143社 (2019年3月31日現在)



# グループの連携で勝ち取った 世界一の大型エンジン輸送

欧州のエンジンメーカーA社から日本へ大型エンジンが輸入されることになった。KWEでは経験したことのない巨大なエンジンの航空輸送。KWEとその子会社である近鉄トランステックは、いかにしてこの特殊輸送を受注できたのか。その裏には、KWEグループの力強い連携があった。 ※人名は仮名です



## 10年に及ぶ関係構築と思いがけない活路

日本のB社が欧州のエンジンメーカーA社に大型エンジンを発注した。イギリスで約10年もの間A社への営業活動を粘り強く行っていた向井は、部品輸送を着実にこなすことで確かな信頼を築きつつあったが、エンジン本体の航空輸送を受注するのは困難だろうと考えていた。なぜなら、A社の立場に立てば、取引のあ

る欧米系フォワーダーに依頼する方が安心であるし、A社がエンジン輸送の際の使用を義務づけていた「ローラーベッド車」をKWEは所有していなかったからだ。

そんな日々の中、向井は日本から出張に来ていた東海林(都内輸入営業所所属)から「近鉄トランステックが半導体製造装置の輸送専用ローラーベッド車を製造した」と聞いて驚いた。帰国した東海林は部下の遠藤と顔を合わせて具体的に可能性

を探り、エンジン輸送を担えるという確かな手応えを得た。遠藤はローラーベッド車を大きな武器に、B社との商談に向かった。

商談はローラーベッド車一択の直球勝負だったが、B社にとってローラーベッド車を使ったオペレーションは初めて。「時間短縮と高い安全性を実現できることを訴え続けました。それでもまだ納得には至りませんでした」。遠藤はローラーベッド車の生みの親である近鉄トランステックの塚に協力を仰いだ。遠藤と塚は、原木にある近鉄トランステックの操作場に顧客を招き、実際の運転を見せて一切の不安を拭った。後はB社の決断を待つのみだった。その夜、電話が鳴った。遠藤に笑みがこぼれた。

## 未経験での不安があっぱれに変わる

2カ月後の輸送が決まった。しかし、製造されたエンジンがA社の社内品質基準をクリアできず、出荷が何度も中断。塚は当時の様子をこう振り返る。「日本でこれだけの大型貨物を運ぶには、国土交通省と走行区間内にある全ての県警の許可が必要です。輸送スケジュールが組まれれば許可を取りに走り、キャンセルとなれば取り消す。1日ずれただけで許可を取り直す必要があります。もう計10回以上足を運びましたよ」。もしかしたら、もう届かないんじゃないのか。一時期は全員がそんな不安を抱えたが、当初の予定から遅れること3カ月。エンジンが成田空港に到着した。

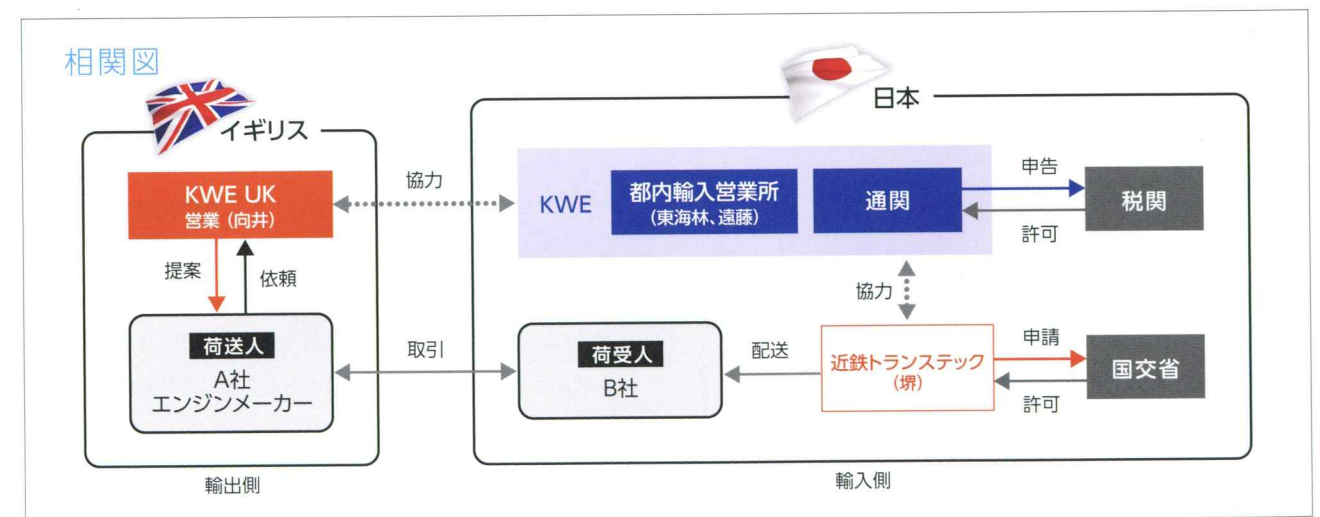
その日は土砂降り、最悪のコンディションだった。加えて、以前、半導体製造装置輸送の際に経験した積み替え時のトラブルが発生するのではないかということも、塚にとっては懸念の一つだった。だからこそ、対策を講じ万全を期した。そのかいあって、ローラーベッド車は成田空港を22時に出発し、無事にB社まで運ぶことができた。「翌朝10時に首都高に乗って帰ったんですが、あの豪雨から一転、空は快晴で気持ちが清々しかった」と遠藤は初納入の日を振り返った。



## 常にアンテナを張ってさらなる前進を

KWEにとっても近鉄トランステックにとっても、非常に大きな実績となった今回の輸送。「A社との取引関係ができたこと、現時点で世界一大きなエンジンを輸送できた実績は大きい。その他のエンジンメーカーや関連会社にもKWEの名を知ってもらえるチャンスが広がりました」と遠藤は語る。一方、塚は「ものすごく欲しかった実績。半導体製造装置の輸送にばかり頼ってはいられないし、今後伸びるであろう大型エンジンの取り扱いに成功した意義は大きい」と語る。そして2人は口をそろえる。「グループの連携に力強さを感じる」と。営業所単独でも会社単体でもできなかった。お互いの持つ力を発揮し合えたからこそ、受注と納入が実現できたのだ。

そして、10年という長い歳月をかけて築いてきた向井の地道な営業活動も忘れてはならないだろう。「私も向井さんも、いつかは大型エンジンを取り扱いたいという思い、執念のようなものをずっと持っていました。営業としてのアンテナを常に張っていたことが、今回のチャンスをものにできた要因だと思います」と遠藤。営業に向ける情熱が全員にある限り、これからもKWEグループは前進を続けていくことができるはずだ。



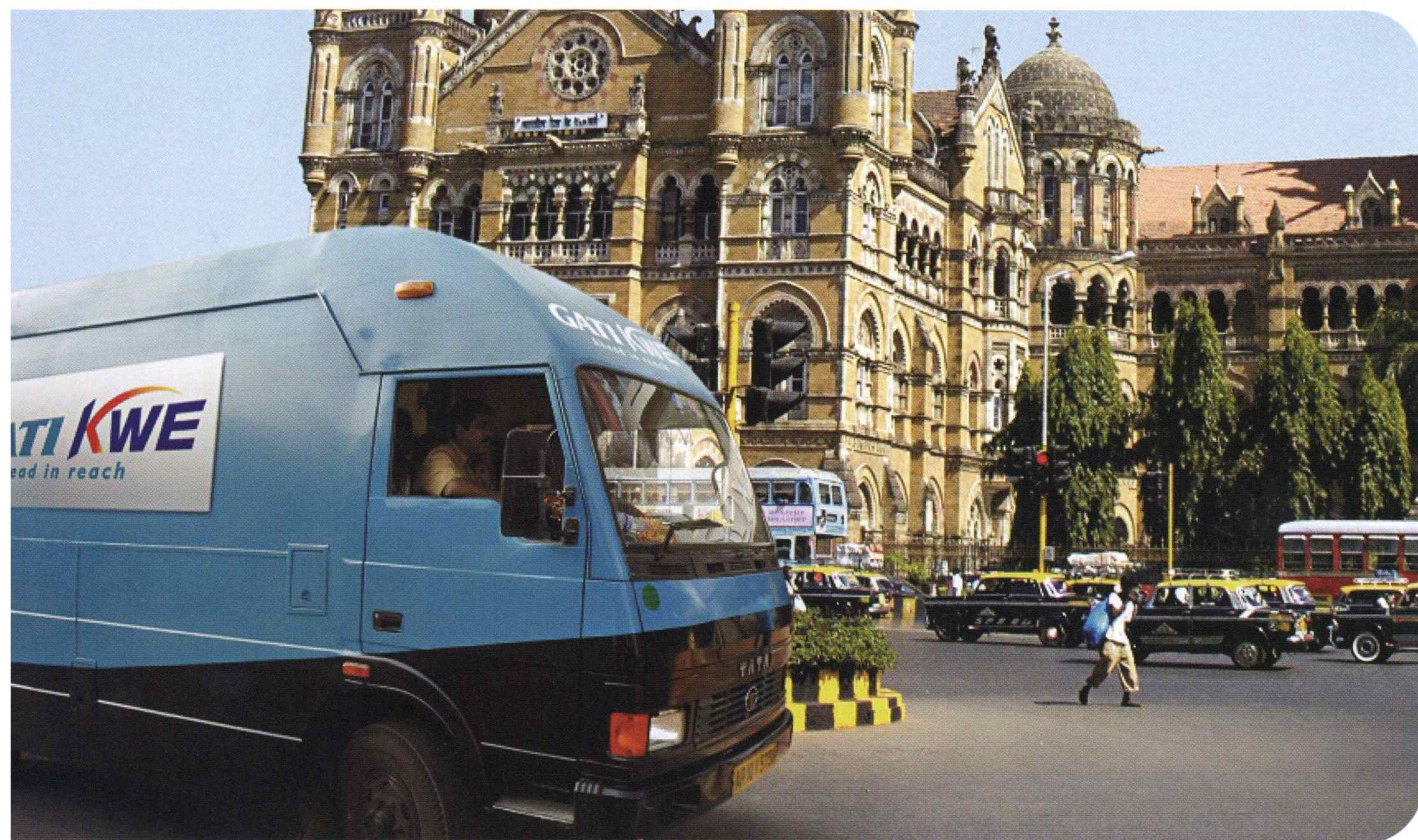


# 未知なる問題に挑み インド物流に新たな一歩を

「インドでテスト店舗をオープンしたい」

もともとお付き合いがあったアパレル製造販売E社のそんな相談に、KWEは立ち上がった。

成長著しい新興国でありながらも未知の分野が多いインド。誰も経験したことのない挑戦が始まった。 ※人名は仮名です



## 新たな挑戦の始まり

KWEインドの駐在員・藪内は、日系アパレル製造販売E社から「マーケティングのため、インドで期間限定のテスト店舗をオープンしたい」と相談を受けた。時を同じくして、日本でも同じ話が動き出そうとしていた。日本のE社本社がインド物流の実情に関する情報収集を行っていたのだ。KWEインドの駐在から

戻ったばかりの坂上はまさにうってつけの人材だった。「自分の経験を買って、頼っていただけるのは非常に嬉しかったです」と、坂上。こうして、日本とインドの両国で話は具体化していくこととなる。しかしそれは、KWEにとってもE社にとっても未知なる挑戦だった。

## その衣類の原産地と安全性を証明せよ

E社の生産拠点は中国にあり、商品は一度全て日本に持ち込まれる。検品作業後、商品は日本や他国の流通網へ。問題はここからだ。中国から日本への輸入では必要のない“原産地証明書”が、インドへの輸入には必要となる。証明書がなければ、インドでは輸入許可が下りないのだ。坂上はE社に原産地証明書の発行を求めたが、早速ここで壁にぶち当たった。原産地証明書の発行は難しいという。中国で生産した時点ではどの商品がインド向けのものかわからないからだ。坂上は頭を悩ませた。E社内でも、日本とインドの担当者間で情報が錯綜していた。インドでも前例がなく、インドの税関に確認しても、一貫した回答が得られないのだ。E社提携先の輸入業者F社、藪内らKWEインドの担当者が何度もそろってインドの税関に足を運び、正しい情報を入手しようと奮闘した。粘り強く確認し続けたかいあって、何とかこの問題をクリアすることができた。

次に浮上したのが染料の問題だった。インドでは、衣類など体に直接触れる商品を輸入販売する際、利用している染料が輸入規制に該当しないことを証明する“検査証明書”の提出が求められる。その証明書のあるものだけが販売できるのだ。坂上は「検査証明書がなくても輸入はできるんです。でも、販売はできない。これも、インドにあって日本にはない規制の一つです」と言う。今回は、商品の輸入通関を行った後、現地の検査機関にサンプルを送付し、検査証明書を取得する手はずを整えた。

期間限定でオープンするテスト店舗ゆえ、輸送の遅延は絶対に許されない。日本からの輸送時期、インド到着後に通関許可に要する日数、染料検査の日数などを加味し、今回は航空輸送を選択。万全の準備を整えていった。

## もう一つの壁を乗り越えて

最後の難関は現地での配送だった。時間厳守はもとより、保管・輸送時のダメージも防がなくてはならない。衣類だけに、商品の水濡れなどもってのほか。最善の体制を組んで、商品を店舗に届けなくてはならなかった。ここで登場するのが、Gati-Kintetsu Express(Gati-KWE)。インド国内のほぼ全域をカバーする配送網を誇るGati社との合併会社で、GPSを活用した配達システムでインド初の日時指定配送や配達完了報告もできるという、インドでは画期的な輸送会社だ。Gati-KWEでは自社倉庫にE社の商品を一時保管し、店舗オープンに間に合わせるよう細心の注意を払って配送を行った。

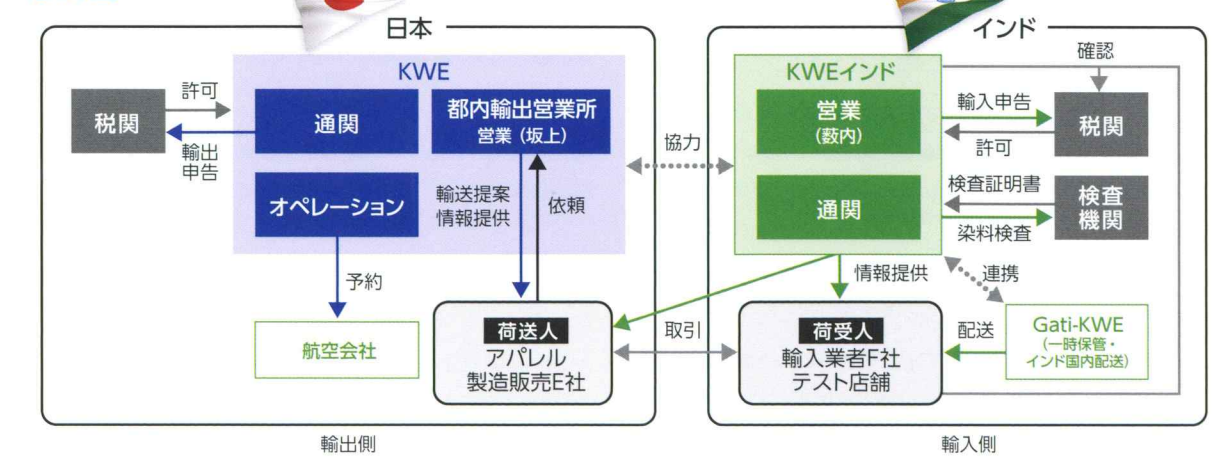
そして、無事にE社のテスト店舗はオープンの日を迎えた。予想を上回る売れ行きに、インドマーケットでの手応えも十分。この結果は、E社にも満足いただけるものだった。

## 信頼と実績がインド物流の未来へつながる

発展著しいインドだが、日系企業にとってインド物流はまだ未知な点が多い。今回の成功の陰には、インド物流の実情に関する坂上の知見、藪内らインド国内に日本人担当者がそろうE社の担当者と直接やりとりを行うといった体制の厚さ、そして何より、足を使って情報を仕入れ、付きっきりで粘り強くやりきる姿勢があった。「当社としても初の試みでしたが、挑戦しただけの成果は得られた。他社ではここまでではできなかっただろうと自負しています」と坂上は述べる。“物流コンサルティング”とも言うべきビジネスパートナーとしての信頼を勝ち得たことは非常に大きな収穫だった。

インド物流に関する確固たる知識とノウハウ、さらにインドでの常識を超える充実の設備を兼ね備えている日系フォワーダーは、KWE以外にはない。輸送・保管に限らず、物流の全てにおいて提案し、お客様の問題を解決できる。その強みを最大限駆使して、さらなるビジネスチャンスが開く日は、そう遠くないだろう。

## 関連図





## KWEグループの最新情報

### ベネルクス法人 アムステルダムに第2倉庫を開設

KWEのオランダにおける現地法人Kintetsu World Express (Benelux) B.V.は、2019年3月11日にアムステルダムにAmsterdam No.2 Warehouse(アムステルダム第2倉庫)を開設しました。オランダは、非居住者在庫や納税代理人制度等、荷主にとって税制面での優遇措置があることから、欧州におけるロジスティクス拠点として非常に旺盛な需要があります。

当倉庫はアムステルダム・スキポール空港から約15km、欧州最大のロッテルダム港から約110kmの場所に位置しており、既に稼働している第1倉庫からも800mの距離にあります。

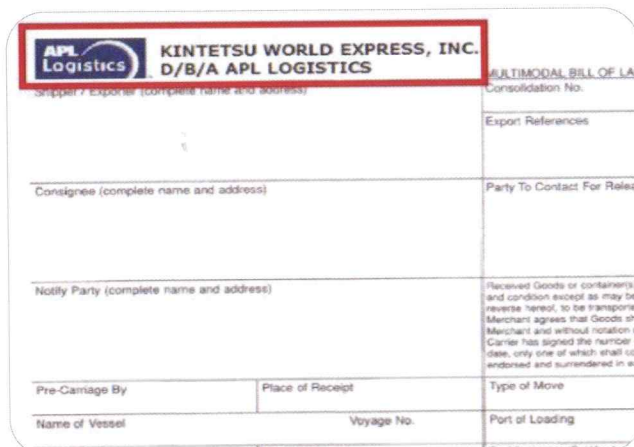
KWEベネルクス法人では2つの倉庫で連携してお客様の様々な物流ニーズにお応えしてまいります。



### 海上B/LのAPLブランドへの統一について

KWEは、2015年にグループ化したAPL Logistics(APLL)社との協業をさらに深化すべく、両社の海上B/LおよびSea Waybillのフォーマットを「APLブランド」に統一することいたしました。

対象仕向地	全仕向地(米国発を除く)
適用開始日	2018年10月1日日本船出航分より。 *但し、米国・カナダ向けは、発地CYもしくはCFS搬入日が10月1日以降の船積みから適用。
主な変更点	1)海上B/Lのフォーマット ①B/Lロゴ:[KWE ロゴ]から「APL Logistics ロゴ」へ変更。 ②キャリア名:[Kintetsu World Express, Inc.]から「Kintetsu World Express, Inc. D/B/A APL Logistics」へ変更。 *「D/B/A」は「doing business as」の略。



新B/Lフォーマットのイメージ

# Career

## KWEのキャリア編



### KWEの仕事紹介

## 誇りとやりがいのある物流のエキスパートの仕事

KWEでは、社員全員が物流のプロとしておのこの仕事に従事しています。それぞれが担っている役割は様々ですが、お客様の貨物を運ぶためにはどの仕事もなくてはならない重要なものです。そして、それぞれの担当者がチームワークを発揮することで、お客様の貨物を無事にお届けすることを可能にしています。

#### 営業(グローバル)

▶P21・22・23

目に見えない物流サービスを新規および既存のお客様に対して販売する仕事です。お客様のニーズを把握し、貨物の輸送のみならず在庫管理や流通加工サービスなど、お客様の物流の最適化を実現する提案を行います。

#### 通関(グローバル/プロフェッショナル)

▶P26

日本から海外へまた海外から日本へ到着した貨物は必ず通関手続きを行わなければなりません。貨物の内容に合わせて通関書類を作成し、税関へ申告を行います。通関士という国家資格が必要な業務もあり、入社後に毎年多くの社員が資格を取得しています。

#### 情報システム(グローバル/プロフェッショナル)

▶P28

社内システムの構築だけでなく、KWEのグローバルネットワークシステムを開発・保守・運用しています。またお客様の輸送の見える化をITで強力にサポートしています。

#### 営業デスク(グローバル/プロフェッショナル)

▶P24・25

お客様からお預かりした貨物をご要望に応じて輸送できるように関連部署や海外現地法人と共に手配を行います。また、お客様の窓口として様々なお問い合わせにお応えしています。

#### オペレーション(グローバル/プロフェッショナル)

▶P27

航空会社や船会社と交渉をして貨物の輸送スペースを確保したり、適切な輸送ルートの提案などを行います。ロジスティクスにおいては、お客様の貨物を適切に入庫・保管・流通加工するための倉庫管理業務を行います。

#### 経理(グローバル/プロフェッショナル)

▶P29

お客様および海外法人との精算業務をはじめ、当社および国内外連結子会社を含めたグループの決算処理などを行っています。社内外に適切に会社情報を提供するとともに、経営陣の経営判断をサポートする重要な業務です。



## 営業

## 付加価値の高い提案と つながりを大切にする営業力

営業は、貨物の発着地、物量、納期や予算など様々な観点からお客様のご要望をお伺いし、KWEのノウハウやグローバルネットワークを駆使して、お客様に最適な輸送手段をご提案するのが仕事です。

現在、自動車部品メーカーを中心に数十社のお客様を担当しています。最近では電話やメールでのやりとりも少なくありませんが、お客様の顔を見て直接お話しすることを心がけています。確かに、事務的なやりとりだけなら電話やメールで十分かもしれません。しかし、直接足を運ぶことでお客様ときちんと顔が見える信頼関係を構築することができます。お客様から「なんでも話しやすいね」と気さくにご相談いただける機会も多くあり、頼っていただけるうれしさと同時に物流のプロとしての責任感に日々身の引き締まる思いです。

また単にKWEのサービスをご案内するのではなく、「お客様のために何ができるのか」「お客様が本当に求めているサービスは何か」ということを常に意識し、ご提案を行っています。そのかいあって「やっぱりさすがだね」とお客様から当社のブランドメッセージにかけたお褒めの言葉を頂くと、お客様のお役に立てていることを実感し、うれしさとやりがいを感じます。

最近では、日本を介さずに貨物を輸送するオフショア・ビジネス

(三国間輸送)が増加しており、今まで以上に世界を相手に仕事をする機会が増えています。国内だけではなく、海外現地法人のナショナルスタッフと協力してお客様の貨物の輸送手配を行うため、自分の仕事の世界に広がっていると実感しています。

金流・商流と並び、経済を動かす大きなフローの一つである物流に携わることで、お客様の事業や、ひいては世界経済の動きにも大きく貢献できていると思います。このように、世界の動きをダイナミックに感じることができるのが営業の仕事の醍醐味であり、やりがいの一つです。

今後、会社の事業拡大に貢献するためには、自分自身の営業力や提案力を一層高めることが不可欠です。入社から一貫して携わってきた航空貨物輸送の営業だけではなく、海上貨物輸送の営業においても提案の幅を広げ、それぞれを組み合わせたKWEならではの付加価値を提供できる営業活動を実践していきたいです。お客様のご要望をしっかりと汲み取る力をさらに身に付け、お客様に「さすがだね」と言っていただける営業担当として、どんな仕事に対しても決して妥協することなく、海外駐在員としても経験を積んでいきます。

Kintetsu World Express (China) Co., Ltd.

### 黒田 亮佑

外国語学部卒

2009年入社。航空機や船に興味があり、フォワードの仕事に興味を抱く。海外拠点の多いKWEならば、海外勤務にも挑戦できると考え、志望した。入社後は航空輸出の営業を経験し、2012年9月よりアメリカ・ニューヨークで研修。1年間の海外研修を経て、海上の輸出営業所で営業を担当した後、2016年から海外駐在員として中国で営業活動を行っている。



## 営業

## サプライチェーンを広く捉え ロジスティクスに戦略的な提案を

ロジスティクス営業は、お客様に最適な物流の仕組みづくりを提案するのが仕事です。当社の主力事業である貨物輸送は、お客様のサプライチェーンの一端を担っています。一方、ロジスティクス営業では、輸送の範囲だけに限らず、システムの導入や倉庫管理などを含む広い観点でお客様のサプライチェーンを考え、業務の効率化やコスト削減を図るお手伝いをしています。入社以来、倉庫販売の営業担当を務めてきました。お客様が海外から国内に輸送された貨物を自社倉庫などにいったんお預かりし、外箱の損傷をチェックしたり適切なラベルを貼り付けたりといった、流通加工サービスを提供するのが倉庫販売の仕事です。国際間の輸送をした後の貨物の管理を、幅広く請け負っています。

現在、私は約20社のお客様を担当しています。また、新規のお客様への営業活動も行っており、貨物輸送で当社とお取引のあるお客様の元を訪問し、倉庫も含めたお客様の物流全体の効率化をサポートする提案をしています。貨物の輸送から倉庫での在庫管理、流通加工までを当社に一括で委託していただければ、多方面と調整する手間が省け、お客様の業務効率化に貢献できます。その際に、コストだけではなくKWEの価値を感じてご依頼いただけるように、対応力や人間力は磨き続けていかな

ければなりません。お客様に信頼していただけるように、日々の電話やメール連絡なども丁寧かつ迅速な対応を心がけています。そのかいあってお客様から様々なご相談を頂けると、やりがいを感じます。

倉庫はおお客様の事業の根幹を担う重要な基盤の一つであるため、お客様も簡単に変更はできません。輸送と比べるとご提案の機会は少ないものの、その分チャンスを抑めば息の長いビジネスになります。お客様にご満足いただき、当社の倉庫サービスを少しでも長くご利用いただくためには、倉庫内のオペレーション品質も非常に重要となってきます。そのため、倉庫で実際に貨物を管理するスタッフとも日頃から密にコミュニケーションを取り、貨物やお客様の情報をしっかりと共有することが大切です。今後も信頼される営業担当として、日々の仕事を通じてKWEのロジスティクス事業をますます発展させていきたいと思っています。

港輸入営業所

### 芳野 勇人

国際文化学部卒

2009年入社。合同企業説明会で物流業界を知り、社会や経済に対する高い貢献度に魅力を感じて志望した。特にKWEは、世界と広くかかわりが持てる点に魅力を感じて入社を決意した。入社後は倉庫販売に携わり、営業担当としてお客様へ提案営業を行っている。





## 海外営業(マネジメント)

常に前進し続ける姿勢で  
進むべき道を切り開く

現在、私はKWEマレーシアで駐在員として現地法人のマネジメントを行っています。

学生時代にアメリカへ留学した経験から、海外で仕事をしたいと強く思い、物流業界を志望しました。入社後に配属された輸出貨物を扱う営業所では、営業として最初は医療機器メーカーを中心としたお客様を担当し、その後は総合商社などのお客様を担当しました。毎日お客様を訪問する中で、幅広い経験を積むことができました。その後アメリカへの辞令が下されると、ロサンゼルスでは航空輸入営業所に配属され、様々な業務を経験しました。また、営業所長としてマネジメントにも携わり、ナショナルスタップを統括する立場として、マネジメントの難しさを痛感することもありました。仕事は、個々の能力をアピールして自ら勝ち取るものです。だからこそ、責任者として日頃から一人ひとりの働きぶりや行動をしっかり把握し、適切な評価をするよう心がけていました。次に所長を務めたポートランドの営業所では、航空、海上、輸出、輸入、倉庫管理などあらゆる業務を一手に行っていたため、より幅広い業務を経験することができました。

9年のアメリカ生活を経て、東京の営業所で営業担当を務めた後、2013年にグループ経営戦略本部(現・企画総務部へ統

合)に異動となりました。グループ経営戦略本部では、KWEグループ全体を見渡し、進むべき方向性や戦略を決定するという使命の下、経営戦略や中期経営計画の策定、国内外の関連会社の経営管理、投資やM&Aといったプロジェクトの推進を行いました。

そして、再び2016年から駐在員となり、現在はKWEマレーシアでKWEが展開する事業規模の大きさを改めて実感して働いています。営業の第一線やアメリカでの駐在経験、グループ経営戦略本部で培ってきた様々な目線や考え方を生かし、現地法人の組織運営や事業推進に貢献していきたいと考えています。

私が今までに様々な経験を積むことができたのも、熱い気持ちを持って、常に挑戦する姿勢を忘れずに走り続けてきたからこそだと思っています。そして、その情熱を持ち続けていられたのは、同じ志を持った世界中の仲間たちと切磋琢磨してきたからです。無限に広がっているチャンスを掴み取るため、何事にも挑戦していく勇氣、困難にも臆することなく挑んでいく姿勢を持った仲間たちと、これからも走り続けていきたいです。

Kintetsu World Express  
(Malaysia) Sdn. Bhd.

## 奥野 壘

文学部卒  
1995年入社。入社後は営業担当として東京・神田エリアの企業を中心に輸出の営業を担当した。2001年、アメリカへ赴任。ロサンゼルスに6年半、ポートランドに2年半駐在した。帰国後東京・新宿の営業所でさらに営業経験を積んだ後、2013年8月からグループ経営戦略本部でアメリカの現地法人の経営管理サポートを行った。2016年には再び海外駐在員としてマレーシアに赴任し、現地法人のマネジメントに携わっている。



## 営業デスク(輸出)

輸出手配を通じて  
お客様のご要望を形にしていく

輸出の営業デスクは、お客様からのご依頼を受けて、貨物を国外へ輸出するための手配を行っています。どのような種類の貨物なのか、どれくらいの物量なのか、いつまでにどこへ届けるのか、といった情報をもとに、オペレーションセンターを通じて航空会社に予約を行ったり、通関センターへ必要な書類を送ったり、輸出先の海外現地法人へ貨物の取り扱いに関する指示を出したりと、業務内容は多岐にわたります。このほか、これから輸出しようとしている貨物に予期せぬトラブルが発生した場合や、輸出申告時の通関センターからの問い合わせなどにも日々対応を行っています。

お客様とやりとりをする窓口として心がけているのは、常にお客様の目線で考えることです。現在は30~40社ほどのお客様を担当しており、メーカーや商社をはじめ、お客様の業種は幅広く、取り扱う貨物の種類によって輸出の形態も異なります。ご依頼いただいた手配スケジュールに余裕がなかったり、貨物量が多いため通常より手配が困難であったりする場合にも、お客様のご要望にお応えするために関係各所と連携して、スピーディーかつ柔軟な対応ができるよう最善を尽くしています。何度もやりとりを重ねる中で、お客様と良い関係を築き、頼りにしていただ

けていると感じるとき、大きなやりがいを感じます。また、多様な業種のお客様と接点を持ち、グローバルな視点でモノの動きを見ながら社会を支えていると実感できるのが、この仕事の醍醐味だと思います。

円滑に仕事を進めるためには、社内の様々な箇所との連携も欠かせません。業務チームに書類作成を依頼したり、営業担当にお客様とやりとりした内容を共有したりと、日々様々な相手と状況に応じた適切なコミュニケーションを行うことが求められます。社内においても相手の目線に立って考えることを大切に、自分が指示した内容や話の意図がきちんと伝わるようにわかりやすい表現を使うなど工夫をしています。

今後も幅広い業務を通じて経験を重ね、知識を増やし、難易度の高い案件にもチャレンジしたいと思っています。まずは目の前の仕事に精一杯取り組んでいながら、積極的にスキルアップを図り、お客様や社内からも頼りにされる存在になれるよう成長していきたいです。

新宿輸出カスタマーサービスセンター

## 内田 佳歩

国際ビジネス法学科卒  
2015年入社。グローバルビジネスを専攻し、幅広い業種とかかわりを持てる国際的な仕事をしたいと考えフォワードを志望。KWEは航空・海上いずれの業務にも携わるチャンスがあり、チャレンジ精神旺盛な社風が自分に合っていると感じ入社を決意した。入社後は京浜輸出カスタマーサービスセンター(現・京浜輸出営業所)を経て、新宿輸出カスタマーサービスセンターで、輸出手配を担当している。





## 営業デスク（輸入）

# 貨物輸送の司令塔として 主体的に業務を動かす

営業デスクの仕事は、貨物輸送の調整役です。輸入営業所デスクの場合、貨物の荷送人からどのような貨物をいつ、どれくらいのお預かりし、航空・海上いずれのモードで輸送の上、いつまでに荷受人に届けるのかなどの情報を海外の現地法人に確認して、通関チームや輸送業者、荷受人であるお客様に伝えます。つまり、お客様のご要望にあわせて、貨物を滞りなく輸送するための手配を関連部署と連携しながら行っています。また、貨物の輸送だけではなく、三国間輸送や輸入貨物の検品・保管等のロジスティクスサービスを提供しているお客様も担当しているため、営業デスクとして、お客様のサプライチェーン全体に関わる業務のリーディング、サポートも行っています。

「営業デスク」という言葉から、一人で淡々とデスクワークをこなす印象をもたれがちですが、実際には人とのやりとりが多い点もこの仕事の特徴のひとつです。お客様の窓口として手配を進めるにあたり、関係各所から十分な理解や協力が得られるよう、相手の立場に立って丁寧に物事を伝えられるよう努めています。また、海外の現地法人とのやりとりも多いため、文化や考え方の違いを前提としたコミュニケーションを図ることや、時差を考えて仕事を進めることも大切です。例えば、米国の西海岸と日本

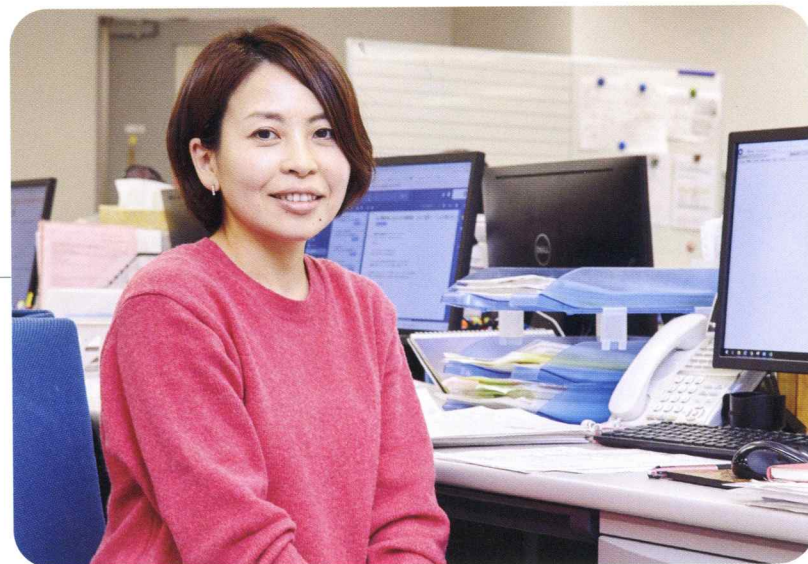
は昼夜がほぼ逆転しているため、タイムリーにコンタクトすることが難しく、一通のメールのやりとりの中で、確認事項やリクエストを的確に伝えなければなりません。一方で、ヨーロッパは日本の夕方から始業となるので、限られた時間の中で瞬時に判断しなければならないことも多くあります。時差を踏まえて仕事をする中で、業務の優先順位をつける習慣が身につきました。日本に居ながらにして、日々世界との繋がりを実感できることも、営業デスクの魅力だと思います。

私は、通常より短い勤務時間を設定する育児短時間勤務制度を利用しており、勤務時間に制限がある立場です。退社後にチームメンバーにフォローしていただくこともあります。仕事と育児の両立で重要なことは『量より質』を心がけ、周りの方々に感謝の気持ちを忘れず、常にコミュニケーションを図っていくことだと思います。

港輸入営業所

## 三野 和佳

国際関係学科卒  
2005年入社。海外と繋がることのできる仕事をしたいと考え、学生時代に通関士の資格を取得し、KWEを志望。入社後、成田カスタマーサービスセンター（現・東京輸入通関センター）にて、通関業務等を経験。2008年から神戸ロジスティクス営業所（現・日本橋輸入営業所）に配属となり、営業デスク業務を1年半経験後、2009年に海外研修制度を利用して香港に赴任。帰国後は渋谷輸入営業所（現・港輸入営業所）に配属となる。2013年より産休・育休を経て2014年に復職。



## 通関

# 仕事と育児の両立を図りつつ 正確かつ迅速な通関を目指す

通関の仕事は、貨物を輸出入する上で必要不可欠なもの。グローバルに事業を展開する商社やメーカーをはじめとしたお客様から委任を受け、貨物の内容や価格などを税関に申告します。また貨物の種類によっては、例えば医薬品であれば薬機法、動植物であれば検疫といった具合に、輸出入に際して遵守しなければならない法律や手続きがあり、それらへの的確な対応も併せて求められます。

貨物は、税関から輸出入の許可を受けて初めて国内外に流通させることができます。その為、税関への申告には絶対にミスがあってはなりません。仕事に慣れてくると機械的に作業をこなしがちですが、そこは初心を忘れずに日々緊張感を持って業務に臨むとともに、インボイスとB/Lの付け合わせなどは細心の注意を払って何度もチェックするよう心がけています。また輸入では通関後の配送の手配も行っているのですが、いつどこに誰宛てに送るのかなど正確性が求められるのはこちらも同じ。確実かつ正確な業務の積み重ねを通じてお客様からの信頼と感謝が頂けるところに、この仕事ならではのやりがいを感じています。

産休・育休を取得して復職した現在は、会社の育児短時間勤務制度を利用して働いています。地震や台風など輸送に支障を

きたす不測の事態が発生した際には残業をして対処することもあります。基本的には16時までの勤務です。復職当初は少なからず不安もありましたが、幸いにも私が所属している部署には育児に対する理解、そして互いにフォローし合う体制があり、今は不安もなく仕事ができています。共に働く同僚や上司にはとても感謝しています。

一方で、恵まれた環境にただ甘えるだけではいけないと思っています。たとえ勤務時間は短くとも、フルタイムと同様の業務をこなす成果をあげる。そのために毎朝出社した段階で1日の作業スケジュールを立てて無駄なく計画的に仕事を進めるなど、業務の効率性向上という点には特にこだわっています。時短勤務時の効果的な働き方についてはまだ模索の最中ですが、より高いレベルで仕事と育児の両立を目指すことで、この後に続く後輩や新入社員たちに、一つのロールモデルを示してあげることができればと思っています。

東京輸入通関センター

## 中川 夕貴

外国語学部卒  
2009年入社。元々英語や海外旅行が好きだったことに加え、就活を通じて、国際物流が「社会を支える要」であることを知り興味を持つ。入社後、配属された関東輸入海上カスタマーサービスセンター（現・東京海上通関センター）では主にCS業務に従事。2012年からは当時の渋谷輸入営業所（現・港輸入営業所）にて営業デスク業務に携わる。その後、約1年半の産休・育休を経て2018年に復職。現在は東京輸入通関センターに籍を置き、仕事と育児に奮闘する日々を過ごす。





## オペレーション

オペレーションが支える  
KWEの輸送品質

航空会社と交渉して輸送スペースを確保し、輸出先である海外の空港まで無事に到着させるところまでが、オペレーションの仕事です。現在はアジア向けの予約業務を行っています。昨今のアジアは経済的に活気があり出荷量も多いため、業務において正確さとスピードが求められます。

複数の荷主の貨物を一つのKWEの貨物として輸送することで、いかにリーズナブルなスペースを確保できるかがオペレーションの腕の見せどころです。全体の貨物の量を予測しておき、航空会社に前もって予約を入れたり、貨物の特徴に応じて航空会社を選定したり、できる限りお客様のご要望にお応えできるように心がけています。日頃から営業や営業デスクとコミュニケーションを図ってお客様の動向を知るなど、こまめに情報収集しています。

大口の輸出案件の場合、KWEを含むフォワーダー各社に提案を求められることがあります。勝負の鍵は、安全輸送、納期厳守といった基本的な輸送品質に加えて、お客様のニーズを捉えた輸送ルートの選定能力です。KWEでは、営業所、オペレーションセンター、通関センター、海外拠点の連携力を生かし、安全・安心の輸送をご提案します。無事に受注でき、営業担当者から「お

客様が喜んでいただよ、ありがとう」と言われると、仕事のやりがいを感じます。

貨物の輸送では、お客様のご依頼や天候不良などによって緊急対応を迫られることが少なくありません。何とか輸送スペースを確保したり、欠航便に代わる輸送手段を探したりする際に大切なのは、周囲を巻き込んでより多くの情報を集め、限られた時間内に最善策を探すことです。過去の実績や経験を総動員し、臨機応変な対応を心がけています。世界の経済の動きが貨物輸送に直結しているのだと思うと、この仕事は世界とつながっていると実感します。その為、海外のニュースや経済情報などは、積極的に目を通すようにしています。今後は、より知識や経験を蓄積して、業務の精度を高めていきたいです。

大阪輸出オペレーションセンター

## 門田 英也

国際社会科学部研究科卒

2010年入社。国家事業の民営化に興味を持ち、学生時代は空港の生産性に関する研究に携わる。昨今はアジア各国の空港が台頭する中で、日本の空港をもっと盛り上げていきたいとの思いを胸に、フォワーダーの仕事を目指す。入社後は、大阪輸出オペレーションセンターでヨーロッパ、アメリカ向けを担当。2012年からアジア向けを担当している。



## 情報システム

国際物流を支えるシステム開発は  
責任とやりがいの大きい仕事

世界を舞台に貨物を輸送する国際物流業界は、高度なシステムによって支えられています。例えば、社内では受発注システムや在庫管理システムを、お客様は貨物の輸送状況を追跡するシステムなどを利用することで、よりスムーズな貨物輸送を目指しています。

情報システム部の業務は、社内外の要望に応じたシステムを作る「開発」、出来上がったシステムを改善・メンテナンスする「保守」、システムのユーザーをサポートする「運用」の3種類に大別されます。その中でも、現在私は主に社内向けのシステム開発を担当しています。業務管理や受発注管理のシステムを開発するためには、実際に利用するユーザーにヒアリングを行い、システムの仕様を構築するために要件定義を明確にする必要があります。システムのリリースに要する期間は最低でも約1カ月です。複数のプロジェクトを同時に進行させるので、状況に応じた臨機応変な対応を迫られることも少なくありません。

システムの開発には、ユーザー、情報システム部、プログラマーのような外部協力会社など、立場の異なる方々が携わっています。それぞれが独自の視点や考え方を持っており、お互いの意見をぶつけ合わせると、思いがけないひらめきや改善のアイ

デアが出てきます。それにより、誰もが納得して満足できるシステム開発ができますし、自分自身の発想の引き出しも増えていきます。

システム障害が発生したときは、一刻も早く復旧させなくてはなりません。システムが止まれば社内外の業務に支障が生じ、その結果、お客様にもご迷惑をおかけしてしまいます。どんなに緊迫した状況下でも冷静に原因を究明し、適切かつ迅速に対処することが大切です。緊張感を持って仕事に取り組む中で、情報システム部が担う責任の大きさを日々実感しています。

いずれはシステムをゼロから構築するという、よりダイナミックな開発への挑戦を目指しています。そのため、専門知識はもとより、社内の業務に関する知識なども積極的に取り入れるよう心がけています。今後も着実に力をつけていきたいと思っています。

コーポレート・  
インフォメーションテクノロジー部

## 笠松 幸男

商船学部卒

2006年入社。学生時代はサプライチェーンマネジメントを専攻し、フォワーダーを中心に就職活動を行った。幅広い選択肢からお客様の要望に応じて最適な輸送手段を考え、提案できる柔軟性に興味を抱き、KWEを志望した。入社後は情報システム部に配属され、システムの開発・保守・運用を担当した。アメリカでの海外研修を経て、現在はシステム開発に意欲的に取り組んでいる。





## 経理

## 世界経済や会社の動きを読み解き 経営にかかわる数字管理を担う

学生時代は経済学を専攻していましたが、経理に関する実務の知識やスキルは入社後に業務を通して習得しました。仕事を始めてみて実感したのは、想像以上に広い視野、高い視点が求められることです。経理部で扱う数値データは事業展開の方針決定にも利用されるため、グループ全体を俯瞰的かつ客観的に見なくてはなりません。また、国内外の経済状況や、その中でKWEはどのような強みや弱みを持っているかといった考え方も不可欠です。経理は正確な数字管理をベースに、時代や業界の動きに合わせた柔軟な発想と対応が必要な仕事なのだと感じています。

入社1年目は会計チームに配属され、経営状況や財務状態を明示する財務諸表の作成を行い、2年目には支払い業務などを経験しました。4年目には海外研修生に選抜され、KWE-USAの本社経理部で勤務しました。その後、再度日本の会計チームで決算業務を務めた後、現在は中国で海外駐在員として勤務しています。経理部では、例えば融資の提案を受けたり借入金利の交渉を行ったりするのですが、取り扱う金額は数億円規模に上るため、巨額を扱う仕事の重みを常々感じます。もちろん、無駄なコストを省いていかに会社の財務状態を良くするかという発想も

忘れてはいけません。何事もバランスよく見定め、行動することが求められます。

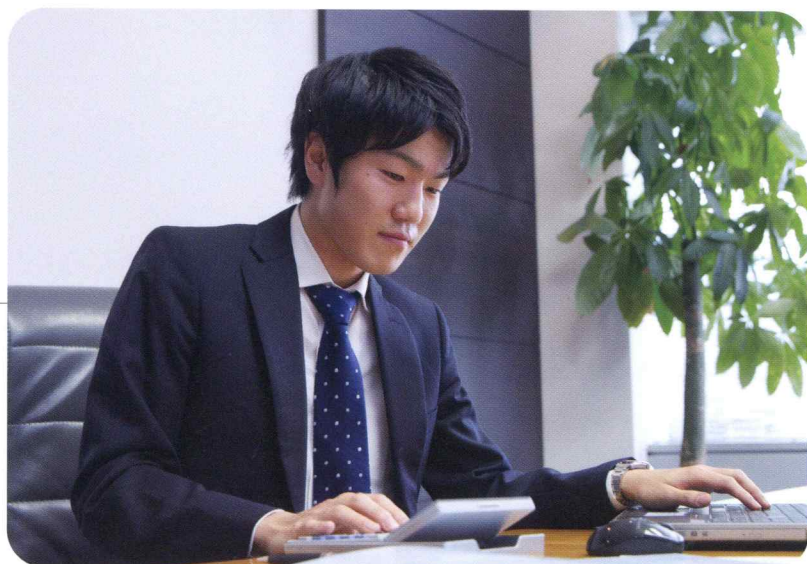
日々の業務においては、金融機関の方々とのやりとりが多いです。その際、日本だけにとどまらず、世界経済や金融の動きを見通して提案を頂くことが多々あります。業界も立場も異なる方の意見は新鮮ですし、広い視野を身に付けるための勉強にもなります。また、金融機関の方からは「KWEほどグローバルに展開している企業はめったにありませんよ」と言われます。それはまさしく、海外現地法人を非常に多く抱えるKWEの特徴を表した言葉だと思います。私自身、日本在籍時から現在に至るまで数十カ国に及ぶ現地法人の経理担当者とのやりとりを行う必要があり、世界各国のスタッフと共に仕事ができる面白みを感じています。会社全体世界全体を広く見つけて仕事に臨むスケール感こそ、経理部の仕事の醍醐味です。さらに、社内外問わず様々な方とのやりとりが多いので、人と接するのが好きな方には興味深い仕事だと思います。きっと、想像以上に幅広く奥深い仕事を経験できるはずですよ。

Kintetsu World Express (China) Co., Ltd.

### 増子 順介

経済学部卒

2010年入社。グローバルに事業展開している企業を志望しており、なかでもKWEの海外現地法人の多さと人を大切にする社風に惹かれて入社を決意。入社後は経理部に配属され、財務諸表の作成や支払い業務を経験した。アメリカでの海外研修を経て、日本の会計チームで経験を積んだ後、現在は海外駐在員として中国で勤務している。



## KWEの研修制度

### エキスパートを育てる教育研修制度

KWEでは、グローバルな物流のエキスパート育成のために教育制度の充実を図っています。

階層別教育、総合物流サービスを行う上でのKWEの業務知識を深める業務教育、海外研修や各種資格取得の自己啓発支援など、着実なキャリアアップが図れるよう多彩なプログラムでバックアップしています。

#### ■ 新入社員研修

入社後、合宿形式の研修で社会人としての心構え、ビジネスマナーなどを中心に学びます。様々なプログラムを通して社会人としての基礎づくりに励みます。その後、仮配属された部門ごとに様々な物流施設を訪問し、物流の現場を体験します。7月の本務採用で配属が決定され、各職場の先輩トレーナーのもとでOJTを中心とした研修を受けながら、翌年3月までに物流のプロフェッショナルとなる素地を育てます。



#### ■ サンシャインステップアップ制度

全新入社員に一人ずつ、トレーナーとして先輩社員が指導にあたる制度です。先輩社員は新入社員に対して日頃の業務の指導や、社会人として、またKWE社員としての姿勢や心構えについても指導にあたり、公私にわたる相談役としての役割も担います。



# KWEの職種とキャリアステップ

社員のキャリアのグローバル化やライフスタイルの多様化を踏まえ、活躍の場が異なるコースでの採用を行っています。入社後のキャリアステップが異なります。

## グローバルコース

国内外の勤務地で様々な職務を経験し、経営幹部を目指します。  
全国および海外転勤があります。原則としてキャリアのどこかで営業職を経験します。



※1:入社2年目より応募できます。赴任は3年目からとなります。(研修プログラムにより1年間or2年間)  
※2:3~4年で異動し、様々な業務を経験します。

## プロフェッショナルコース

一定のエリア内で勤務し、専門性を磨いて物流のプロフェッショナルを目指します。



	プロフェッショナルコース	リージョナルコース
職種	営業職以外	全職種が対象
異動	転居を伴う異動無し 部門を越えた異動無し	所属リージョン内で 転居を伴う異動有り

プロフェッショナルコースの勤務地は4つのエリアにわけています。



※2021年度採用については西日本エリア(福岡県)の採用予定はございません

## 海外研修

グローバルコースの若手社員を対象に海外研修を実施しています。毎年選ばれる研修生はアメリカ、ヨーロッパ、アジアなどの各海外拠点に派遣され、現地法人で実務研修を受けます。

帰国後は研修で培った語学力や国際感覚を生かし、日本国内でのさらなる活躍を目指します。



## 外国語研修

社員が任意の語学学校で学ぶ受講費用を会社が一部負担する制度です。

実践的な外国語会話を身に付けることを目指し、英語だけでなく中国語、ロシア語、ポルトガル語、スペイン語、アラビア語など、当社の現地法人や駐在員事務所がある地域の語学を社員が選択し、学んでいます。



## 資格取得支援

通関士、IATA/FIATAディプロマ(国際航空貨物取扱士)、JACIS危険品、国際複合輸送士などの資格取得を支援するため、合格者の受講料を会社が一部負担する制度があります。



## 業務教育

入社~3年目まで、より実践的な業務知識を習得するため、講義とテスト形式の単位取得制で、段階的にKWEの基幹業務を学ぶことができます。また、総合物流企業の社員として他部門の業務知識を深め、マルチモード提案ができるようになるための他部門業務研修など様々なプログラムで自己成長を図ります。



## 自己啓発支援制度

2020年1月より導入された新しい制度で、通信教育による自己啓発プログラムにより、仕事や仕事以外に関する知識の向上を支援します。社員の主体性、自ら考える社員の育成と同時にワークライフバランスの更なる推進を目指すための制度です。



# 福利厚生制度

## ■ 休暇制度

年次有給休暇(初年度17日、最高27日)、近鉄特別休暇(勤続3年ごとに3日間の連続休暇)、出産休暇、配偶者出産休暇、マタニティー休暇、子の看護休暇 等様々な休暇制度があります。

2020年4月より年次有給休暇を利用して年間1回、9日間の連続休暇の取得を奨励する連続休暇制度が導入されます。

## ■ 従業員持株会

給与天引により自社株を購入できる「近鉄エクスプレス従業員持株会」があります。

## ■ 介護休職制度・ 介護短時間勤務制度

家族に介護が必要となった場合、所定の手続きにより会社が認められた者は休職および介護短時間勤務制度を利用することができます。

## ■ 全国の契約保養所

健康保険組合の提携する宿泊施設が全国の主な観光地に約200カ所あり、優待料金で宿泊できます。

## ■ 企業年金制度

入社初年度より確定拠出年金制度(DC年金)、4年目より確定給付年金制度(DB年金)に加入し、老後の資産形成が可能になります。

## ■ 財形貯蓄制度

給与天引による積立型の貯蓄ができます。

## ■ 育児休職制度・ 育児短時間勤務制度

出産、育児休職の後、多くの社員が育児短時間勤務制度を利用して、仕事と育児の両立を図り、活躍しています。KWEでは法律で定められているよりも長い期間(※)、育児短時間勤務制度を利用することができます。

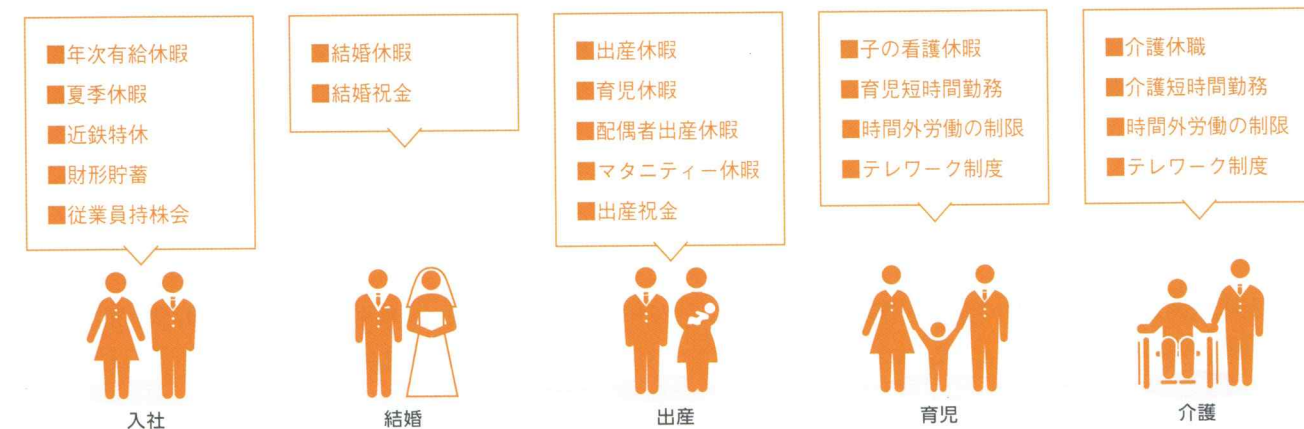
※養育する子供が小学校三年生を終了するまで。

## ■ 再雇用制度

結婚や出産、育児その他家族の事情によるもので会社が認められた者は再雇用される制度です。

## ■ その他

独身者支援制度、扶養者支援制度、退職金制度、親和会等様々な制度があります。2019年11月より育児または介護短時間勤務者に対して、テレワーク勤務を導入しました。KWEでは、多様な働き方の実現および人事・福利厚生制度を充実させています。



# 会社概要

## 会社概要

(2019年3月31日現在)

社名	株式会社近鉄エクスプレス (Kintetsu World Express, Inc.)	代表者	代表取締役 社長執行役員 鳥居 伸年
設立	1970年1月(創業:1948年5月)	従業員数	連結 17,661人 単体 1,138人
資本金	72億1,600万円	事業内容	1.貨物利用運送事業(航空、海上、鉄道) 2.貨物自動車利用運送業 3.航空運送代理店業 4.通関業 5.倉庫業(流通加工・作業サービス含む) 6.その他付帯事業
営業収入	連結 5,920億900万円 単体 1,161億9,700万円	事業所	国内/63カ所 海外/46カ国、319都市、860拠点
営業利益	連結 207億9,700万円 単体 29億4,900万円	関連会社	海外(現地法人含む)134社、国内9社
上場	東京証券取引所市場第1部		

## お問い合わせ

〒108-6024 東京都港区港南2-15-1 品川インターシティA棟24階 株式会社近鉄エクスプレス 人事部(採用担当)  
TEL. 03-6851-7341 Email : saiyo@kwe.com





株式会社 近鉄エクスプレス

〒108-6024 東京都港区港南2-15-1 品川インターシティA棟24階  
電話番号:03-6851-7341

<https://www.kwe-saiyo.com/>

